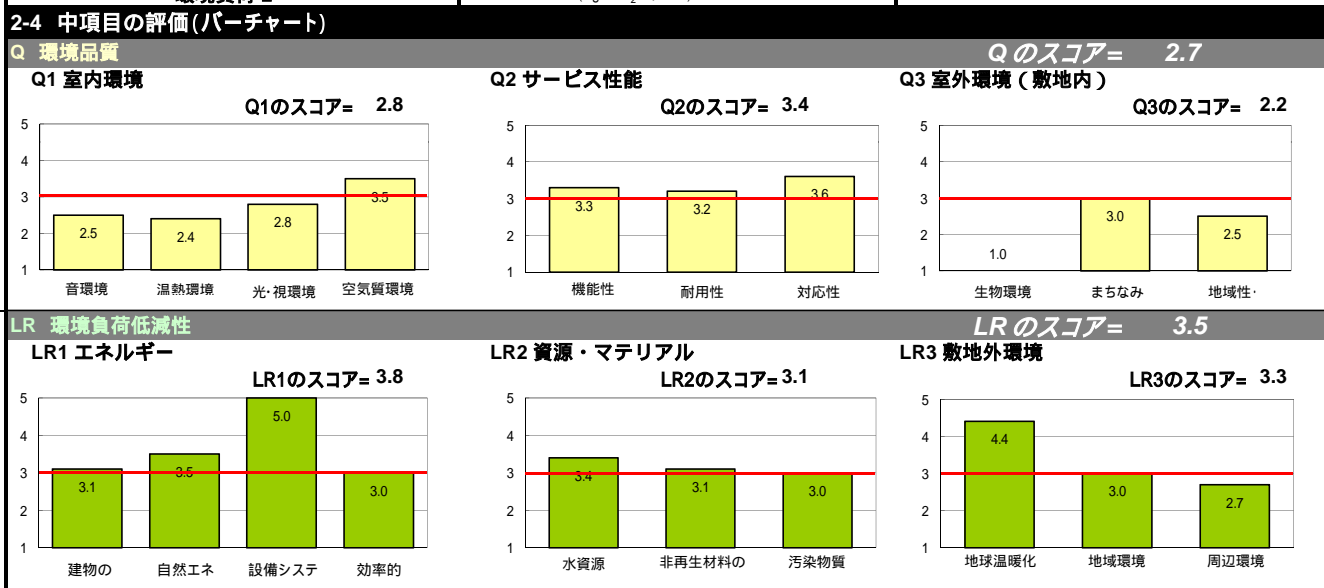
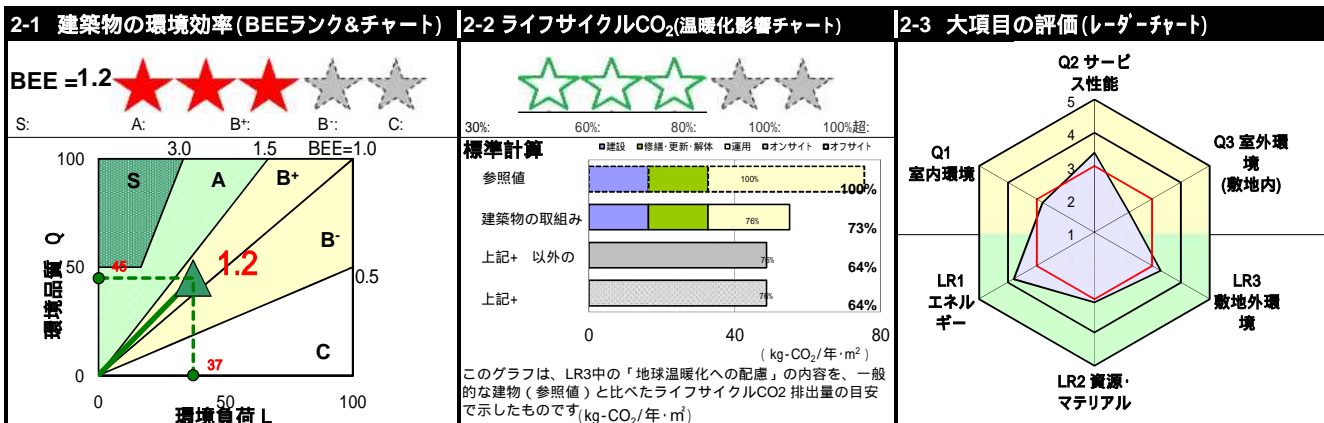


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ヤマモづくりの殿堂プロジェクト	階数	地上3F
建設地	足柄上郡山北町岸字丸山3819-88他	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	130人
気候区分		年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年3月7日
敷地面積	29,921 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	8,557 m ²	確認日	2014年3月7日
延床面積	12,445 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物を継続利用していくために維持管理しやすくなるよう考慮し、耐久性の高い材料を選定した。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材料にFを採用した。建物内を全面禁煙にすることで、非喫煙者が煙に晒されないよう配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>食堂は見晴らしの良い位置に計画し、休憩時の環境にも配慮した。耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>できる限り緑地を設けるとともに、植栽が成長して森になるように計画した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光パネルを計画し、自然エネルギーの利用を計画した。高効率照明の採用を計画した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。LGS下地により、躯体と仕上材が容易に分別できるよう計画した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺環境へ日照障害がないよう配慮した。適切な量の駐車、駐輪スペースを確保し、管理用車両等の駐車施設を確保した。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。